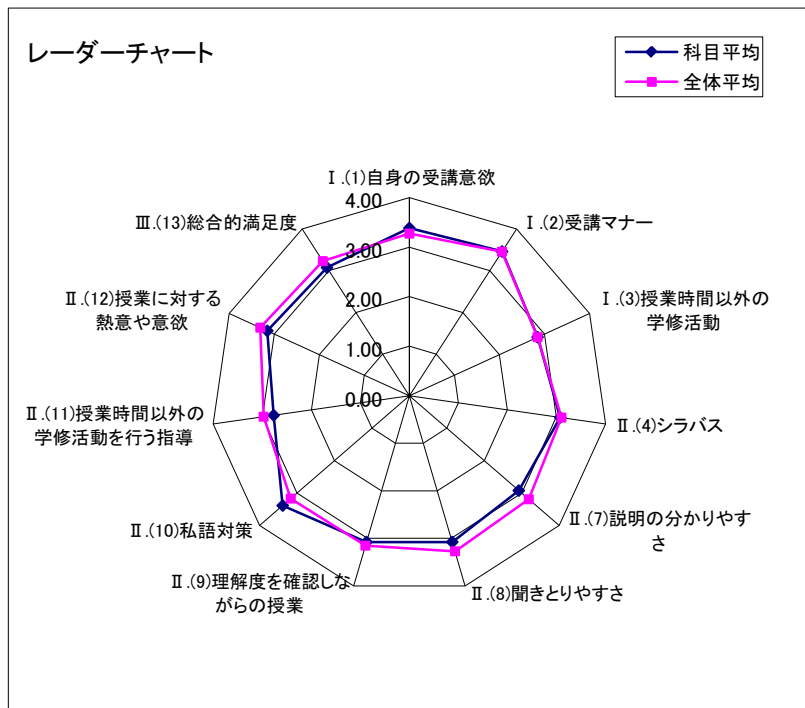
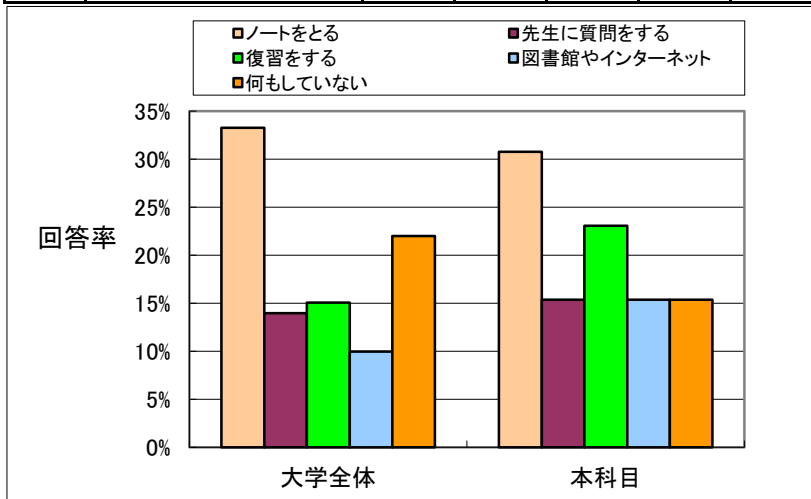


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14)	授業を理解するための工夫	0.31	0.15	0.23	0.15	0.15



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.38	3.27
	I.(2)	3.46	3.46
	I.(3)	2.85	2.85
講義内容・方法	II.(4)	3.08	3.10
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	2.92	3.19
	II.(8)	3.08	3.27
	II.(9)	3.08	3.15
	II.(10)	3.38	3.17
	II.(11)	2.77	2.97
	II.(12)	3.15	3.31
	総合評価	III.(13)	3.08

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.23	3.19
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.07	3.17
II.(4)~(12)		
総合評価	3.08	3.23
III.(13)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度 前期
時間割番号	2162
科目名	情報数学Ⅱ・情報数学Ⅲ
教員名	

①授業計画の達成度について

微分については、数列とそれを利用した微分方程式の差分化まで、当初予定していた内容はおおむね扱うことができた。積分については、時間が不足し重積分と数値積分は扱うことができなかった。全体の達成度はおおむね8割弱といったところである。

②授業の進め方について

プリントを用いた部積分などに関する概念の学習と、その内容をMaximaを用いて具体例で計算し、関数のグラフの表示などを行い知識の定着を図った。コンピュータに習熟している学生がほとんどだったので、ソフトウェアの扱いについては問題はなかったが、プリントなどに書かれた数式や数学の概念を、Maximaのコマンドにしていくときの対応にまごつく学生が多かった。そのため、複数回の授業にわたって類題を繰り返すなどして上記の弱点をなるべく補うようにした。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

どの項目についてもおおむね全体平均に近い値となっている。今後の改善点としては、より分かりやすい説明を工夫していくこと、および、予習・復習などを行いやすくするための課題を与えていくことなどがあげられる。